

科目名	財務諸表論 B Financial Statement B						
科目担当者	大内 健太郎 ŌUCHI Kentarō						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目] 法学部・法律学科 [専門教育科目 関連科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>現代社会で経済活動を行う大部分の組織では財務諸表の作成が必要です。現代社会で生活する以上、財務諸表と無縁の生活を送ることは稀です。財務諸表の正しい使い方、正しい作り方を理解することは今後の人生において有益となる可能性が高いといえます。</p> <p>本講義は財務諸表論Aで講義をした会計の基本や背景を振り返り、財務諸表がどのように活用されるかを学び、さらに財務諸表の構造と作り方へと進みます。加えて毎回の授業において、会計や企業経営に関するトピックスから課題を設定して出題しますので、授業内で解答する小レポートを作成していただきます。定期試験を行います。</p>						
授業の到達目標	<p>①財務諸表の基本を理解する。 ②資産・負債・純資産・収益・費用の認識と測定などを理解し、各論における論点を理解する。 ③透明性の重要性、会計監査に関連した第三者性の重要性等、財務諸表をはじめとした会計制度における重要点を理解する。 ④財務諸表に関連して存在する社会課題や論点について考察する力を身に付ける。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス：会計の定義・財務諸表の目的など					
	2	複式簿記・経営成績を示す PL・財政状態を示す BS など					
	3	企業会計の役割・企業会計の三大計算・日本の会計制度など					
	4	資産の本質とは何か・勘定式と報告式・資産の認識と測定					
	5	無形固定資産・負債の定義・負債の認識					
	6	負債の測定・引当金の意義と分類					
	7	貸倒引当金・社債・資産除去債務					
	8	監査					
	9	純資産					
	10	リース会計					
	11	税効果会計・外貨換算会計					
	12	減損会計・連結会計					
	13	金融商品会計・退職給付会計					
	14	キャッシュフロー計算書					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	決算・利益・倒産など財務諸表に関連する事例となるようなニュース等を新聞やインターネット、ニュースなどで探しておくようにしてください。毎回 2 時間程度行っていただくことを想定しています。						
授業外学修 (事後学修)	30 分程度、講義中に出てきたキーワードを復習し、説明できるようにしておいてください。毎回 2 時間程度かかるレベルとして設定しています。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験 毎回の小レポート					50% 50%	①②③④ ①②③④
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	坂本 眞一郎・大内 健太郎『新版 会計学研究』創成社						
参考文献	新井 清光・加古 宜士『現代会計学』中央経済社 田中 弘『新財務諸表論』税務経理協会 佐藤信彦『財務諸表論の要点整理』中央経済社						
その他							